

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援・保育所等訪問支援まめのき		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 10日	～	R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 29	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日	～	R7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関、法人内の事業所との連携体制の構築	保育所等には療育内容をお伝えしたり、保護者にはグループLINEを利用してその日の療育内容や写真で様子をお伝えしています。また、就学時には同法人内の事業所と連携して、継続した支援に努めています。	必要に応じてケース会議を開催したり、連携体制としては、就学までのスケジュールを細かくお伝えしてサポートしていきたいと思ひます。
2	親子行事をはじめとする保護者支援の充実	法人内での様々な季節行事に加えて、土曜祝日に不定期で親子療育を行っています。親子で実際に療育を体験したり、茶話会の開催による横のつながり強化も目指しています。	親子療育やペアレントトレーニングのより積極的な実施を目指しています。
3	様々な種類、バリエーションに富んだ活動・療育内容	その活動内容や子どもの特性、伸ばしていきたいことを考慮した上での、個別・小集団・集団活動を行っています。また、公共交通機関を利用したお出かけや買い物支援、登校練習等取り組んでいます。	職員それぞれの資格や経験を活かした柔軟な療育支援体制の強化を目指していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、定期的な保護者への周知・説明が不足している。	策定済みでマニュアル化されており、法人内で事業所から担当職員を決定し、会議研修を行い、保護者への周知も行ってはいますが、機会が少ないと思ひれます。	ホームページ、事業所通信、法人通信、各家庭のLINEグループでの周知徹底や見える化を意識した活動を行ってきたいと思ひます。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますが、保護者からわからないとの回答が多い。	実施や体制の見える化が不十分であると考えられます。	毎月面談日は設定して事業所通信に掲載しておりますが、ホームページやグループLINEも活用して機会の提供に努めます。また職員のスキル向上にも取り組んでいきます。
3			